

「お住まいの塗り替えにお役に立つ情報を毎月発信しています！」

ニュースレター



おまかせください！！

2016. 第 92 号



いつもお読みいただきありがとうございます。三商事(さんしょうじ)の上神谷(かみかべや)です。

早いもので3月も終わり、4月に突入です。これからは、お住まいの塗装にとつてはいい時期になってまいります。

4月、5月ともなると、あちこちでシートを張った足場をよくみかけるようになります。それだけ人気のある季節なのです。

塗装させていただく僕らもやりやすいですし、される側のお客様の方も、暑くもなく寒くもない時期。養生などで覆われてしまう事が、そんなに心配ではない・・・というお客様も多いですし、この頃は花粉症のお客様もいらっしゃいますから「かえって、窓を開ける事も出来ませんし、洗濯物を外に出す事もありませんし・・・」とそういった意味でちょうどいい時期ということだそうですね。

4月といえば生活のスタイルが変わる時期でもあります。卒業や入学、新社会人と

なって就職される方、職場をご移動される方・・・我が家でも2人の娘がそれぞれ、小学校から中学校へ、そして幼稚園へ入園という節目の年なのです。

3月25日、無事に長女が小学校を卒業しました。私たち夫婦も参加して娘の晴れ姿を見させていただきました。

改めて思い起こせばあっという間の小学校の6年間でした。先日入学したと思ったのにもう・・・っていう感じです。

卒業証書をいただく舞台の上の彼女はとても大きく感じました。やっぱり、成長したんだなって当たり前ですが思いました。

ぼくは彼女を育ててきたような実感はなく、仕事を一生懸命してきただけ・・・むしろそれは妻の方にあるのだと思います。色々な事が思い浮かんできたので、涙を見せていました・・・。ここまでご苦労様です、ありがとうございます。

この時代、小学生とはいえ様々なことが降りかかってくる”複雑”な時代です。そんな中でも明るく、何事もなく無事に卒業できたことは、本当に嬉しいことです。

それにしても運動会同様、やっぱりビデオに振り回された式でした。取り直しのきかない一発勝負。緊張しました。何が緊張

したかという、「SDカードの容量が足りなさすぎ」というところにです。

家にあった新しいSDカードをビデオに入れ、手で持つとブレブレになるので一脚を買い、これで準備万端・・・といざカメラを回してみると、卒業生入場とあとすこし撮影したところで身の毛もよだつ驚愕のメッセージが・・・「容量がありません」・・・って、もうおしまい？もう撮影できないの？始まったばかりなのに？

どうも・・・よく確認もしないで家にあったSDカードをいれてしまったのが原因のようです。容量が（撮影できる量とでもいいたいでしょうか・・・）があまりに少ないものをいれてきてしまったようなのです。

もう、慌てて入場の場面以外を全部消去。それだって、あとどれ位撮影出来るかはたかが知れています。それでも、卒業証書をもろうところだけは外せない！と本当にタイミングをよく狙っていました。

撮り始めが早すぎると娘のもらう時に容量が足りなくなりますが、遅すぎるともらい終えて壇上を去ってしまいます。

でも出席番号順なので大体のタイミングはつかめましたので、なんとか撮影には成功！ホッと胸をなでおろしました。

そのあとも「いつ容量がなくなるか・・・。」と思いながらも撮影をしていましたが、案の定、すぐになくなり撮影は終了となりました。本当はもっと長く撮影はしているはずだったのに・・・予定よりだいぶ早くカメラ撤収となりました・・・。

こんな調子で撮らなきゃ！という気持ちでしたから卒業証書授与のときは、全然気持ちをいれて見られませんでした。でも、

このシーンだけでもきちんと収めることができ良かったです。



お世話になっております。

長坂利昭です。

今号もお読み頂きありがとうございます。

■さようならライオンバス・・・

各メディアで報道があったので、ご存知の方も多いかと思いますが、日野市にある多摩動物公園内で運行していた『ライオンバス』が、先日3月31日を最後に、一旦運行を終えました。

バス発着場の建物が、耐震基準を満たさなくなってしまう為、運行を取り止めたとの事。同時に、ライオンを間近で見ることが出来なくなりました。

今後、バス発着場の建物を建て替え、ライオンバスを再開する計画はあるようですが、具体的なプラン、再開時期については、未だ未定で、リニューアルには暫く時間が掛かりそうです。（とある報道では、再開は2019年以降という話も・・・。）

■『ライオンバス』の歴史

ここで簡単ですが、改めて『ライオンバス』について・・・。

1958年（昭和33年）に開園した多摩動物公園ですが、開園当初は、アジアに生息する動物の展示が主で、ライオンをは

はじめとしたアフリカに生息する動物はいなかったそうです。

開園から数年経ち、キリンやシマウマなどのアフリカ生息動物の展示が始まると、1964年（昭和39年）に「ライオン園」が開園し、ライオンの展示も始まります。

『ライオンバス』の運行もこの時から。放し飼いのライオンをバスに乗って観るという形式は、世界初の試みだったそうです。

時代の流れで、バスの車種は何度か替わっているようですが、展示・観覧方式は、この52年間ほとんど変わらず。つまりは『ライオンバス』がライオン園の歴史、もっと言えば、多摩動物公園の歴史だったのかもしれない。

■初めての乗車・・・最後の乗車・・・

稲城で生まれ育った私にとっても、多摩動物公園の『ライオンバス』は身近な存在でした。

幼少の頃に家族で乗ったり、幼稚園や小学校の遠足で、先生や友達と乗ったり・・・

10代20代になると動物園に行く機会はありませんでしたが、結婚して長女が生まれると、妻と長女と乗りに行き・・・

そんな思い出いっぱいの『ライオンバス』。“ひとまず”最後の思い出づくりに・・・と、3月下旬のとある日に、次女と乗りに行ってきました。

運行休止決定後、乗車するのに長蛇の列が出来ていると聞いていたのですが、平日でピークをずらしたおかげか、数分の待ち時間で乗車する事が出来ました。

次女にとっては、初めてで“ひとまず”最後の乗車。バスに乗り込む前は「ライオン♪ライオン♪」と上機嫌でしたが、いざガラス越しの目の前にライオンが来ると、だんまり・・・。怖かったようです（笑）。



どんな感情でもいいので、『ライオンバス』の記憶が少しでも残ってくれていたら、親としては嬉しいのですが・・・。

■また会う日まで・・・

そんなこんなで、新たな思い出と「ライオンバスチョコQ」「ライオンバスのお菓子詰め合わせ」をお土産に、“ひとまずの乗り納め”をしてきました。



先にも書きましたとおり、「ライオンバス再開」の時期は決まっていません。

再開したとしても数年後のこと。娘たちが「動物園楽しい！」という思える年齢の間に再開するのだろうか・・・？もしかしたらと、娘たちと一緒に乗車するのは、これが最後だったのかもしれない。

そう思うと、何だかとても感慨深いのですが、とにもかくにも・・・

「ライオンバス、今までありがとう！」

■雨樋の不具合・・・

さて、ここからは塗装のお話です。今回は、『雨樋』について・・・です。

家屋に必ず設置されている雨樋。家の縁を沿うように設置されている雨樋ですから、ここにも塗装を施すと、仕上りはとても美しいものになります。

ですから、私共も雨樋に対してよく目がいくのですが・・・ここ最近、お見積りや工事に何うと、この雨樋に不具合が起きていることが増えてきたように感じます。不具合と一口に言っても、“症状”は様々なので、例を挙げますと・・・

「雨樋が変形している。割れている。」

これは、特に横樋（屋根からの雨を受けるために、屋根の端に水平に取り付けられている樋）に起きている場合が多いです。

原因は多々あるのですが、一番影響を及ぼしているのが「雪」ではないかと考えております。

ここ数年、東京でもまとまった雪が数回降りました。しかも、湿った重た～い雪。

雪が屋根から落ちる時の様子を思い浮かべていただければご想像がつくかと思いますが、屋根からせり出した雪や、更に上の屋根から落ちてきた雪が当たるのせいで、雨樋（横樋）には相当な負荷が掛かります。

この負荷に耐えられなかった箇所が、変形（たわんで）しまったり、割れてしまったのではないかと思います。

「雨樋が土や葉、ゴミで詰まっている。」

こちらは、主に横樋と縦樋の交差点“枅”と呼ばれる部分に起きている不具合です。

多摩地域には、まだまだ田畑や緑が多く残っています。しかし、その自然が多い分、場所によっては田畑の土や樹木の落ち葉が枅に溜まり、詰まりの原因となっています。

また、最近目立つのが、ベランダ床に設置されている排水口が詰まっているケース。

ここも土や落ち葉、置いてあるプランター等の影響もありますが、意外と悪さをしているのがペットのワンちゃんの“抜け毛”。

遊ぶ場所、ブラッシング場所としてなど、何かと便利なベランダですが、“抜け毛”を放っておくと、他のゴミと絡み合い、排水口のみならず、その先の枅や樋にも詰りが生じているご家庭が多くなってきました。

ワンちゃんのいらっしゃるご家庭、それとベランダにプランターなど、鉢植えを置かれているご家庭は、こまめなお掃除をオススメ致します。

塗装工事の際は、雨樋の不具合もチェックし、可能な範囲ではありますが、手直しを致します。気になる点がございましたら、お気軽にご相談くださいませ。

~~~~~

発行者 上神谷裕治（かみかべやゆうじ）

記事 上神谷裕治、長坂利昭

住所 府中市紅葉丘1-1-15

TEL、FAX 042-365-1402

または 090-1504-8833

ホームページ <http://www.sanshouzi.com/>

（ただいまリニューアル中）

ブログ <http://sansyouzi.blog73.fc2.com/>

